

## 応募要綱

### 資格

以下の項目に当てはまるご本人、あるいは当てはまる人を推薦できる方であれば、どなたでも応募できます。

- インターネットの世界に大きく貢献した人
- インターネットの既存概念を大きく変えるような働きをした人
- インパクトのあるキャンペーンを実施した人
- 画期的、独創的な技術を開発した人
- クリエイティブな活動を行った人

### 方法

下記サイトの専用フォームから応募してください。

<http://award.wab.ne.jp>

自薦・他薦は問いません。団体からの推薦も受け付けます。

自薦の場合は、プロジェクトや貢献した内容及びエピソードなどをお知らせください。

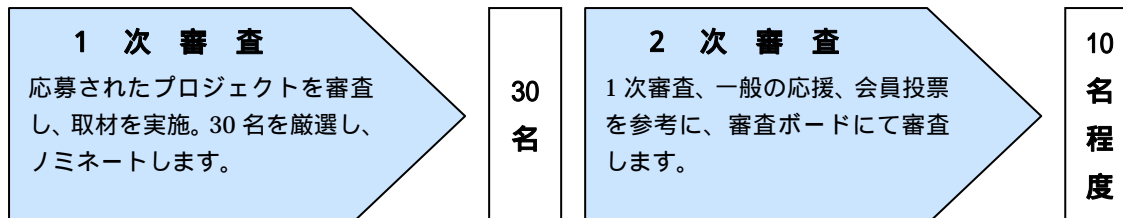
応募時にハンドルネームの使用が可能です。

誰がプロジェクトに携わったのか不明な場合でも、推薦したいサイトがあればご推薦ください。プロジェクトの源泉をこちらで調査いたします。

プロジェクトは、2004～2005年の期間内に実施されたものに限らず、それ以前のものも対象となります。

### 審査

応募された中から30人をノミネートし、取材を行った上で最終的に10人程度を表彰する予定です。



### スケジュール

5月	5/24～6/30 推薦投稿募集
6月	6/8～7/12 応援受付
7月	7/1～7/12 会員投票
	7/1～7/12 1次審査
	7/13～8/10 2次審査
8月	
9月	9/8 贈賞式

### 第3回 Web クリエーション・アワード

～Web 人発見！称えよう、ウェブを動かす“エン人(engine)”たちを。～

人を称えるアワードへ込めた想い

Web クリエーション・アワードは、2003年よりインターネットの発展に寄与するWeb 人を発見し、表彰してまいりました。これまで、「ネットで FIRE」の小川雅章氏（第1回）、「nike.jp」の企画・運営をされた高橋理氏（第2回）に Web 人大賞を贈り、ビジネスマーケットの内外で大きな反響を頂きました。

プロジェクトやサイトなど、成果物に対する賞が多い中、Web 広告研究会が「人」にこだわるのは、インターネットの中心はあくまでも人間であるという思いからです。成功したプロジェクトの影には、必ず創造の源泉となったり、運営の機動力となった「人」がいるはずです。

そこで、Web 広告研究会では、Web におけるマーケティング環境の形成に貢献した人、Web によって日本市場にインパクトを与えた人を「Web 人」として称えることにしました。彼らを発掘し、表彰することで、成功プロジェクトの正確な経緯を評価することが可能となり、今後のインターネットの発展に寄与したいと考えます。

各賞の内容は以下のとおりです。

<b>Web 人大賞</b>	Web の世界に最も貢献した Web 人に贈る
<b>Web 人 of the year</b>	変化の早い Web の世界において、2004～2005 年で最も貢献した Web 人に贈る
<b>Web 人賞</b>	Web の世界に貢献した Web 人に贈る
<b>Web 人奨励賞</b>	最終選考まで残った優れた人に贈る
<b>Web ユニット賞(新設)</b>	優れたチームワークを発揮したコアメンバーに贈る
<b>Web 人学生賞(新設)</b>	斬新なアイデアや優秀なシステムなどを開発する新しい Web 人の芽

## 過去の受賞者

以下は、過去2回の受賞者です。(肩書き等は当時のもの。)

### 第2回(2004年)

Web 人 大賞	<b>高橋 理氏</b> (株式会社ナイキジャパン マーケティング本部 ウェブマスター) プロジェクト: nike.jp の企画運営 ( <a href="http://www.nike.jp/">http://www.nike.jp/</a> ) 受賞理由: 創作性の高さ / 自社媒体を活用したブランド育成の開拓
Web 人 of the year	<b>平田 大治氏</b> (シックス・アパート株式会社 執行役員) プロジェクト: weblog の開発 ( <a href="http://www.sixapart.jp/">http://www.sixapart.jp/</a> ) 受賞理由: 日本のウェブログ文化の醸成に貢献
Web 人 貢献賞	<b>伊藤 穰一氏</b> (株式会社ネオテニー 代表取締役社長) プロジェクト: infoseek ( <a href="http://www.infoseek.co.jp/">http://www.infoseek.co.jp/</a> ) 受賞理由: 検索エンジンがビジネスとして成立することを実証 / インターネットへの取り組みの先進性
	<b>深水 英一郎氏</b> (株式会社バーチャルクラスター 代表取締役) プロジェクト: まぐまぐの創設 ( <a href="http://www.mag2.com/">http://www.mag2.com/</a> ) 受賞理由: メルマガ文化に貢献 / 企業の新たなコミュニケーション手段を開拓
Web 人 特別賞	<b>ギョーム・ブランジャー氏</b> (アークシステムワークス株式会社) プロジェクト: wikipedia 日本語版 ( <a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/">http://ja.wikipedia.org/wiki/</a> ) 受賞理由: 日本語版 Wikipedia を世界有数の情報量サイトとして開発、育成
Web 人賞	<b>木村 剛氏</b> (KFI 株式会社 代表取締役社長) プロジェクト: 週刊! 木村剛 ( <a href="http://kimuratakeshi.cocolog-nifty.com/">http://kimuratakeshi.cocolog-nifty.com/</a> ) 受賞理由: ウェブログの認知・普及に貢献
	<b>白澤 勉氏</b> (日清食品株式会社 宣伝部) プロジェクト: カップヌードル・サイト ( <a href="http://cupnoodle.jp/">http://cupnoodle.jp/</a> ) 受賞理由: 高いクリエイティブ性 / 広告主自らの行動によるブランディングメディアの実証
Web 人 奨励賞	<b>田中 良和氏</b> (GREE 開発運営者) プロジェクト: GREE 開発・運営 ( <a href="http://www.gree.jp/">http://www.gree.jp/</a> ) 受賞理由: 1人でネット社会の新しい繋がり方を提案
	<b>松原 慈氏</b> (assisutant 代表) プロジェクト: HAPPY CITY ( <a href="http://www.bit-seeding.net/happycity/">http://www.bit-seeding.net/happycity/</a> ) 受賞理由: インターネットの世界における新しい「場」の概念を提案

第1回(2003年)

Web 人 大賞	<p><b>小川 雅章氏</b>          (キリンビバレッジ株式会社 営業本部営業部 営業企画担当 部長代理)  <b>プロジェクト:</b> ネットで FIRE  <b>受賞理由:</b> ネットを使ったプロモーションの創出</p>
Web 人 貢献賞	<p><b>井上 雅博氏</b>          (ヤフー株式会社 代表取締役)  <b>プロジェクト:</b> Yahoo! JAPAN(<a href="http://www.yahoo.co.jp/">http://www.yahoo.co.jp/</a>)  <b>受賞理由:</b> 日本におけるポータルサイトの育成 / 低価格接続サービスの実現</p>
Web 人 創業賞	<p><b>吉松 徹郎氏</b>          (株式会社アイスタイル 代表取締役兼 CEO)  <b>プロジェクト:</b> @cosme (<a href="http://cosme.net/">http://cosme.net/</a>)  <b>受賞理由:</b> 「クチコミ」をメディアとして確立</p>
Web 人 特別賞	<p>(故) <b>山下 憲治氏</b>          (株式会社インプレス インプレスダイレクト部長)  <b>プロジェクト:</b> INTERNET Watch (<a href="http://internet.watch.impress.co.jp/">http://internet.watch.impress.co.jp/</a>)  <b>受賞理由:</b> 「メディア」としての電子メールを提案・育成 / メルマガ文化の創出</p>
Web 人賞	<p><b>瀧 久雄氏</b>          (株式会社ぐるなび 代表取締役兼 CEO)  <b>プロジェクト:</b> ぐるなび (<a href="http://www.gnavi.co.jp/">http://www.gnavi.co.jp/</a>)  <b>受賞理由:</b> Web による情報提供ビジネスの構築</p>
	<p><b>三牧 義明氏</b>          (株式会社リクルート フロムエナビ編集長 グループマネージャー HR 首都圏 Div.          メディアプロデュース3部 フロムエナビグループ)  <b>プロジェクト:</b> リクナビ (<a href="http://www.rikunabi.com/">http://www.rikunabi.com/</a>)  <b>受賞理由:</b> オンライン就職サービスの構築</p>
Web 人賞	<p><b>中村 勇吾氏</b>          (MONO*crafts.)  <b>プロジェクト:</b> MONO*crafts. (<a href="http://yugop.com/">http://yugop.com/</a>)  <b>受賞理由:</b> Flash を使ったインタラクティブ・インタフェースの構築</p>
	<p><b>杉原 均氏</b>          (日本航空株式会社 旅客 IT 推進室課長補佐)  <b>プロジェクト:</b> JAL e-style (<a href="http://www.jal.co.jp/">http://www.jal.co.jp/</a>)  <b>受賞理由:</b> 航空券の Web 予約システムの構築</p>
	<p><b>小川 仁氏</b>          (株式会社キャストィ チーフプロデューサー コンテンツ戦略室長)  <b>プロジェクト:</b> ひかり荘 (<a href="http://casty.jp/hikarisou/">http://casty.jp/hikarisou/</a>)  <b>受賞理由:</b> FTTH による新しいコミュニケーションの提案</p>
Web 人 奨励賞	<p><b>宮谷 大氏</b>          (brest.TV 代表)  <b>プロジェクト:</b> Brest. TV (<a href="http://www.brst.tv/">http://www.brst.tv/</a>)  <b>受賞理由:</b> 個人による「放送」モデルの構築</p>
	<p><b>小野 裕子氏</b>          (GINZA STREET 代表)  <b>プロジェクト:</b> GINZA STREET(<a href="http://www.ginzastreet.com/">http://www.ginzastreet.com/</a>)  <b>受賞理由:</b> 個人による完成度の高い情報発信</p>

## Web 広告研究会について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、社団法人日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。

「インターネット広告に関わる全ての関係者の情報交流の場」として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 8 つの活動委員会を中心に行い、それを運営委員会が支援するかたちで運営しています。

- 会員社 247 社 (2005 年 5 月 20 日現在)
- 代表幹事 栗田眞次郎 (味の素株式会社)
- 事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 2-11-8 第 22 中央ビル 6 階
- Web サイト <http://www.wab.ne.jp/>

## 委員会構成

### 活動委員会

- ・ サイト活用委員会
- ・ メディアミックス委員会
- ・ ネット・プロモーション委員会
- ・ 次世代ネットワーク委員会
- ・ Web プロデューサー育成委員会
- ・ 調査委員会
- ・ 国際委員会
- ・ 情報政策委員会

### 運営委員会

- ・ 広報委員会
- ・ システム委員会

### 特別プロジェクト

- ・ Web クリエーション・アワード
- ・ Web マーケティング年鑑